

（2）東北地方太平洋沖地震発生の7年後から1年間の余震域内の主な地震活動

東北地方太平洋沖地震発生の7年後から約1年間（2018年3月11日14時46分～2019年3月11日14時45分）に、余震域（図1-1の領域a）内で発生したM4.0以上の地震を図2-1に濃く表示する。今期間のM6.0以上の地震は1回（概要は以下）で、最大震度5強以上を観測した地震はなかった。

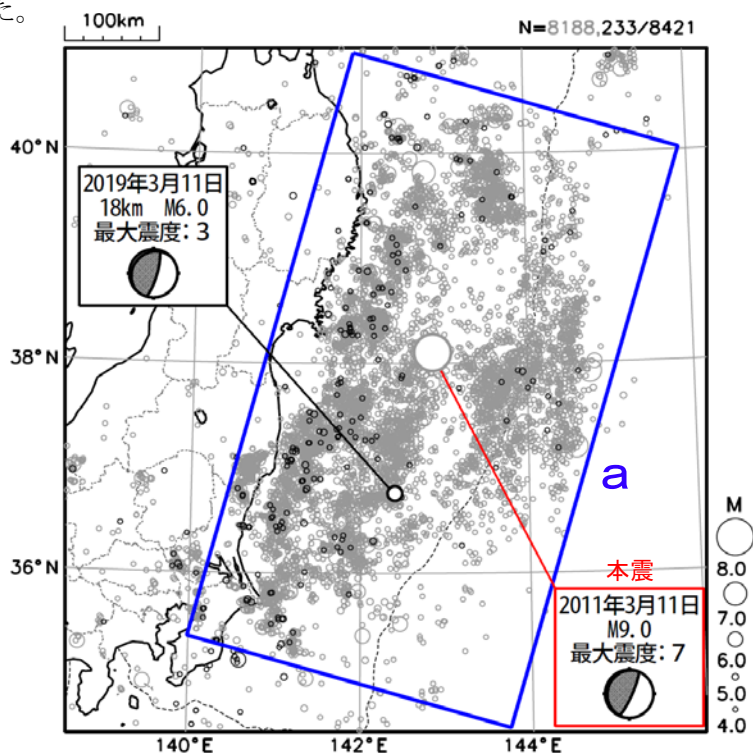


図2-1  
震央分布図  
（2011年3月11日14時46分～2019年3月11日14時45分、深さすべて、 $M \geq 4.0$ ）

東北地方太平洋沖地震発生の7年後から約1年間（2018年3月11日14時46分～2019年3月11日14時45分）に発生した地震を濃く表示している。  
本震、及び領域a内で本震発生の7年後（2018年3月11日14時46分）以降に発生したM6.0以上を観測した地震に吹き出しをつけた。  
発震機構はCMT解。領域aの範囲は図1-1に同じ。

・2019年3月11日 福島県沖の地震（M6.0、最大震度3）（図2-2）

発震機構（CMT解）は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

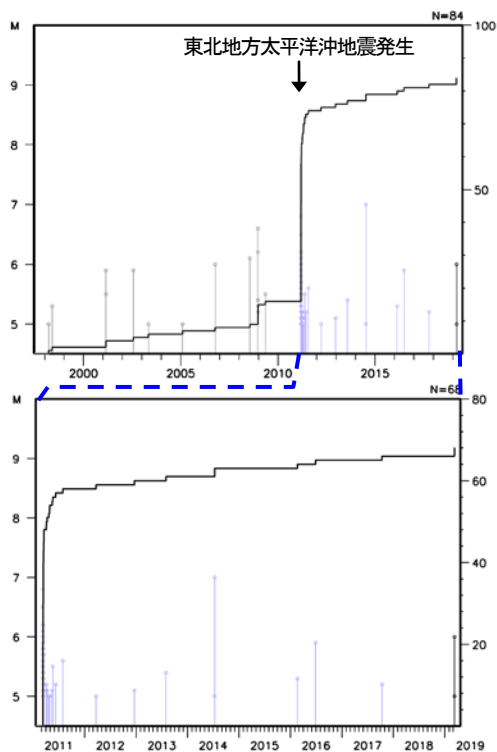
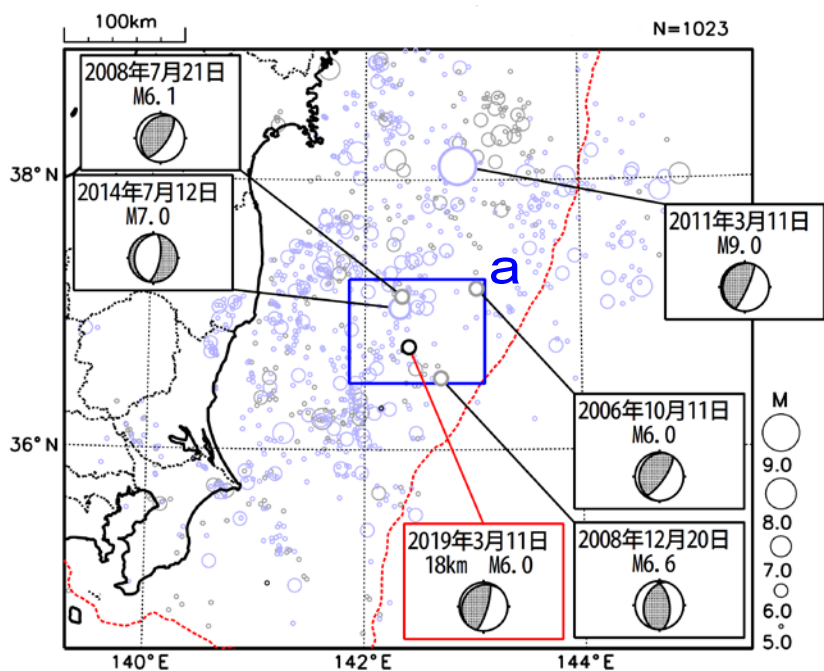


図2-2

（左上）震央分布図（1997年10月1日～2019年3月11日14時45分、深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ ）、

（右上）領域a内のM-T図及び回数積算図（1997年10月1日～2019年3月11日）、

（右下）領域a内のM-T図及び回数積算図（2011年3月1日～2019年3月11日）

東北地方太平洋沖地震より前に発生した地震を薄い○、東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を○、2019年1月以降に発生した地震を濃い○で表示している。発震機構はCMT解を示す。